



第3回 対話を通じたファシリテーション

10月18日(金) 13:30~15:30

オンライン 参加費2000円 定員50名

対象:ミュージアム職員・教育に関わる人



話題提供
松本 朱実

社会構想大学院大学

プロフィール

博士(教育学)。動物園で飼育や教育の仕事に従事した後、環境教育や学習論を研究。テーマは学習者の能動的な学びを支援するプログラムデザインや評価。社会人のリカレント教育にも携わる。著書「動物園教育で子どもたちがアクティブに！」学校図書



ESDでは学習者主体の教育が重視されています。

ミュージアムで人々の自発的な気づきや考えを促すには？

「対話」での「問いかけ」。アンケートを用いた学びの支援など

形成的評価としてのファシリテーションについて

理論と実践を合わせて紹介します！

事例紹介



主任技師
飼育展示部
日本産動物
猛禽類、
教育等担当

荒木 美妃

アクアマリンふくしま

10月18日プログラム(予定)

13:30~14:30

・対話を通じたファシリテーション 講座&ワーク

14:30~15:30

・アンケートなどを用いた学びの支援 講座&ワーク

・事例紹介「えっぐの森どうぶつごっこでの体験学習の形成的評価(仮タイトル)」

モデレーター

森沙耶



北海道大学教育学院
/SciBaco

岡部光太



京都市動物園

安宅範子



カフェ淡路
いきものラボ

学習会スケジュール

回	月日	テーマ	話題提供者
4	11/15	ミュージアムとESD	林 浩二
5	12/6	ふれあいプログラムにおける動物の福祉評価はなぜ必要か	並木 美砂子
6	1/24	ロジックモデルを使ってプログラムのロードマップを作ってみよう	桜井 良
7	2/14	ESDの学びの評価~ループリックを作ってみよう~	松本 朱実
8	3/14	ESD実践例の交換会	参加者

後援

公益社団法人 日本動物園水族館協会

特定非営利活動法人 西日本自然史系博物館ネットワーク

協力 地方独立行政法人天王寺動物園

助成 特定非営利活動法人 西日本自然史系博物館ネットワーク 日比自然史基金

主催 一般社団法人ミュージアムESDコミュニティ

ミュージアムを学び合いのプラットフォームに
<https://museec31.wixstudio.io/museec>

